Engineer

ボタン

押すことで操作を実行する部品

どのようなものか

ボタンは、押すなどして作動させると、処理を行う画面上の部品です。メッセージを送り、下書きを保存し、ダイアログを開き、通話をミュートします。ウェブでは、通常、HTMLの `<button>` 要素であり、アクセシビリティの意味では、`button` の役割を持つものすべてを指します。「押しボタン」は、同じものの、より古い呼び方です。

WAI-ARIA 1.2は、この役割を「クリックするか押すことで、利用者が操作を開始できる入力」と定義し、主に個別の操作に使うと補足しています。通常のコマンドボタンは、状態を保持しません。`aria-pressed` を付けたトグルボタンは、もう一度押すまでオンかオフの状態を保ち、`aria-haspopup` を付けたメニューボタンは、追加の選択肢の一覧を開きます。

最も重要なのは、ボタンとリンクの境界です。リンクは読者を別の場所へ連れて行き、ボタンは、読者が今いる場所で何かを変えます。ARIA Authoring Practices Guideは、二つの機能を明確に別のものとし、リンクをボタンのように描いた場合や、その逆の場合には、別の要素の役割を借りるより、機能に合うよう見た目を変えることを勧めます。

HTML Living Standardは、`<button>` 要素を、その内容をラベルとするボタンと説明します。`type` 属性には、三つのキーワードがあります。`submit` は、そのボタンが属するフォームを送信し、`reset` は入力欄を初期値へ戻し、`button` は、それ自体では何もせず、操作をスクリプトに任せます。`type` がない場合や綴りを誤った場合は、Auto状態になります。その状態で、フォーム内にあり、コマンドを付けていないボタンは、送信ボタンです。中に対話的な内容を置くことはできず、リンク、入力欄、別のボタンも入れられません。

標準では、スクリプトを使わずに、別の要素をボタンで操作することもできます。`commandfor` で対象のIDを指定し、`command` で、ポップオーバーの表示や、モーダルとしてダイアログを開くといった操作を指定します。あるブラウザーがどこまで実装しているかは、そのブラウザー自身のリリースノートで確認します。

概念を判断に生かす

「ボタンとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 読み込みが速く、スマートフォンでも使え、お客様がどのブラウザーを使っていても同じように動く画面を提供します。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 フルスタックのGIS地図開発を指揮 — DBからブラウザーまでのフルスタック地図開発

フルスタックのGIS地図開発を指揮 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

ボタンは、読むことから実行へ移る場所です。購入、送信、保存、削除は、いずれもボタンを通ります。見つけられず、到達できず、意味が分からない人がいるボタンは、製品の収入を支える部分から、その人たちを締め出します。

標準の要素は、必要な動作を初めから備えています。 `<button>` はキーボードのフォーカスを受け、SpaceとEnterで操作を実行し、ボタンであることと名前を支援技術へ伝え、`disabled` を付けると応答しなくなります。WCAG 2.2の達成基準4.1.2「名前、役割及び値」の解説は、HTMLの標準操作部品を仕様に従って使えば、すでに基準を満たすとしています。クリックハンドラー付きの `<div>` には、これらが一つもなく、どれかを実装し忘れるたびに、誰かを締め出します。

名前が、動作の約束です。 スクリーンリーダーは、アクセシブルな名前と役割でボタンを読み上げるため、名前は見た目ではなく、行うことを伝える必要があります。APGは、トグルについて、破りやすいルールを加えます。状態が変わっても、ラベルは同じにします。「Mute」（ミュート）というボタンは、オンのとき「Mute toggle button pressed」（ミュート、切り替えボタン、押された状態）と読み上げられます。「Mute」と「Unmute」（ミュート解除）の間でラベルを切り替える設計なら、ラベル自体が状態を伝えるため、`aria-pressed` は不要です。

大きさは、好みではなく要件です。 レベルAAのWCAG 2.2達成基準2.5.8「ターゲットのサイズ（最低限）」は、ポインターの対象を「少なくとも24 × 24 CSSピクセル」にするよう求めます。例外には、周囲に十分な間隔がある小さな対象、同じページの別の場所にある同機能の十分な大きさの操作部品、文中のリンク、

ブラウザーが大きさを決める操作部品、その大きさが不可欠な場合が含まれます。手の震え、走行中のバス、スマートフォンを操作する親指は、いずれも小さな対象を押しにくくします。

フォーカスは、適切な場所へ移す必要があります。 APGは、押したボタンがダイアログを開いたら、その中へフォーカスを移し、閉じたら、通常は開いたボタンへ戻すことを想定しています。「適用」ボタンのように、押しても読者の操作の文脈が変わらない場合は、通常、そのボタンにフォーカスを残します。保存のたびにフォーカスがページ先頭へ飛ぶと、キーボードの利用者は、毎回先頭からやり直すことになります。

実際の活用例

最も分かりやすい事例は、一つの読み上げから始まります。システムシンボルで構築したSwiftUIアプリケーションで、送信ボタンは「arrow up circle, button」（上向き矢印、円、ボタン）と読み上げられました。ラベルのないシンボルは、内部名で読まれるためです。アイコンだけの十七の操作部品すべてに、スクリーンリーダー向けの名前を付ける作業で、それぞれに、形ではなく操作を示すラベルを加えました。意味が状態に依存する部品では、ラベルも状態に合わせます。より長く残る成果は、アイコンだけの操作部品を作る構文を見つけ、その八行以内にアクセシビリティラベルを求める、リンターによる検査です。八行という範囲は、測定を基に決めた、あえて単純な基準です。近くにラベルがあることは証明しても、正しいことは証明せず、今も人が聞く必要があります。

二つ目の教訓は、ボタンにできないことです。Stripeと、Apple・Googleのアプリ内購入を使う決済と利用権限の層では、11テーブルから成る独立したアクセス制御用スキーマが、そのアカウントで企業名簿、検索、データ出力を使えるかを判断します。サーバーは、処理する要求ごとに、同じ問いを確認し直します。ボタンを隠すことは配慮であって、アクセス制御ではないためです。

ボタンは、人ではない読者にも重要です。このサイトのAIエージェント対応のページは、ブラウザーを操作する多くのエージェントが、スクリーンリーダーと同じように、アクセシビリティツリーからページを読むことを説明しています。HTMLの標準ボタンやラベル付きフォームは、エージェントがフォームを見つけ、入力できるようにする要素の一部です。

このサイト自身のテンプレートには、 `<button>` 要素が一つもありません。塗りつぶした「Get in touch」（お問い合わせ）の案内は、連絡先ページへ移動するため、ボタンのように装飾した `<a>` です。スタイルシートは、達成基準2.5.8を示すコメントとともに、 `min-height` を24ピクセルに設定しています。メインメニ

ューは、`<summary>` で開閉する `<details>` 要素です。テンプレートのコメントは、スクリプトなしで、開閉状態とボタンの意味をブラウザーに任せると説明しています。

問題が起きるところ

- **クリックできる箱で、標準の要素を代用します。** クリックハンドラー付きの `<div>` や `<span>` は、マウスには応答しても、それ以外にはほとんど応答しません。フォーカスを受けず、SpaceとEnterを無視し、単なるテキストとして読み上げられます。`role="button"` を加えて直るのは読み上げだけで、フォーカスとキー操作は、引き続き自分で実装する必要があります。
- **リンクにボタンの仕事をさせるか、その逆を行います。** 記録を削除するリンクは、新しいタブで開いたり、ブックマークしたりできるため、削除を繰り返したり、何が起きたか分からなくなったりします。移動するだけのボタンは、新しいタブで開けず、コピーするアドレスもありません。
- **フォーム内で、種類を省いたボタンが送信します。** `type` がないとAuto状態になるため、フォーム内に置いた「別の行を追加」「パスワードを表示」というボタンが、押した瞬間にフォームを送信します。送信を意図しないすべてのボタンに `type="button"` を書けば、この意外な動作を防げます。
- **アイコンだけをラベルにします。** ごみ箱、鉛筆、矢印の意味は、描いた人には分かります。アクセシブルな名前がなければ、スクリーンリーダーは、ファイル名、シンボル名、または単に「button」（ボタン）と読みます。見える言葉を付けるのが最善です。場所がなければ、操作を示すアクセシブルな名前で補います。
- **非表示や無効化を、セキュリティ対策と考えます。** ボタンをページから除いて止まるのは、正規の手順を使う利用者だけです。その背後の要求は、引き続き送れます。そのアカウントにその操作を許すかどうかは、サーバー自身で判断する必要があります。

参考資料

- WAI-ARIA 1.2：buttonの役割：役割の定義、トグルとメニューの種類、対応する状態とプロパティを説明します。
- HTML Living Standard：button要素：内容モデル、submit・reset・buttonの種類、Auto状態、`command` と `commandfor` 属性を説明します。
- ARIA Authoring Practices Guide：Button Pattern：ボタンとリンクの違い、キーボード動作、押した後のフォーカス、トグルのラベルのルールを説明します。
- 達成基準2.5.8の解説：ターゲットのサイズ（最低限）：24 × 24ピクセルの最小サイズ、間隔の検査、その他の例外を説明します。

- 達成基準4.1.2の解説：名前、役割及び値：各操作部品に、ソフトウェアが読める名前と役割が必要な理由と、標準のHTML操作部品で基準を満たせる条件を説明します。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「ボタンとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/button/